



ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

Rotary International

週報

— 奉仕活動を通じて、地域社会に貢献！ —

2014～2015 年度 会長 高橋 正典

Vol49 No.3 平成 26 年 7 月 15 日

第2329回

例会 報告

— 7 月 15 日 —

本日の司会

鳥居 SAA 委員長

第2329回例会

点 鐘
ロータリーソング
ニコニコボックス
会長の時間
幹事報告
委員会報告
クラブフォーラム
点 鐘



開会宣言・点鐘

高橋 会長

ロータリーソング

『それでこそロータリー』

ソングリーダー: 津野田会員



お客様紹介

高橋 会長

- 島野 敏明 様 (東京武蔵国分寺RC)
- 三枝 正 様 (東京武蔵国分寺RC)

ニコニコボックス

酒井親睦委員長

高橋会長・中村幹事: 本日は第3回目クラブ協議会です。各委員長様から一年間の想いを語って頂きありがとうございます。しっかり受けとめて会長・幹事でまた頑張ってください。よろしくお願いします。

馬場会員: ①家内の誕生日にお花券をいただき大変ありがとうございました。②新年度、初めての出席となりましたので高橋会長、中村幹事の1年間のご活躍を祈念してニコニコします。

桑原会員: いつも欠席ばかりですみません。

小川会員: 自宅上棟式を好天の中で行う事が出来たのでニコニコします。



会長の時間

高橋 会長

皆様、改めましてこんにちは。先週

7月9日水曜日に国際ロータリー第

2750地区2014-15年度第1回会

長幹事会に出席してまいりました。本

日は簡単に内容を皆様にお伝えした

と思います。一番印象に残ったの

は規定審議会検討委員会の報告です。坏委員長が報告者でし

た。まず、3年に一度改定されます2013年版の手続き要覧です

が、2010年度版と比べ、約70ページほど縮小されています。

また、ホームページより、PDFをダウンロードすることも可能にな

っております。全般的に簡略化され、ホームページへの誘導リン

クによる記載が増えています。クラブ細則の記載簡略化にとも

ない、各クラブ(特に新設クラブ)では2010年版を参照する必要

があります。5大奉仕の奉仕事業の記載も簡略化されています。

主要な改訂内容としては

①会員身分の拡大(仕事を中断した人、仕事をしたことのない人を認める)

②衛星クラブ設立を認可(新クラブ20名は集まらないが、理事会構成上、必要最低限の8名以上いれば、設立可能。)

③ガバナー空席対策として副ガバナーの選出(パストガバナーが一時的、恒久的に対応できるようにする)

④五大奉仕の一つ「新世代奉仕」を「青少年奉仕」に変更。

ロータリーの「中核的価値観」である奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの特に多様性実現のために改定が為された

と考えられるが、働いたことのない人に職業奉仕が理解できるのかと言ったような矛盾が潜んでいることは否めない。そこで、手

続き要覧を理解し、矛盾点等は地区規程審議会検討委員会に提出してほしいと委員長より、要望がありました。地区目標は

200名の純増、1クラブ以上、8衛星クラブの設立で合計純増

280名の達成。この内訳としては入会者数580名(3クラブの拡大と8クラブの衛星クラブの設立で140名、既存クラブ純増440

名)退会者を300名に抑えることで達成可能。ロータリーの友、

ガバナー月信の購読も推奨、特に全会員の方に投稿による雑誌の活性化の願いがありました。ロータリー俳壇・歌壇・柳壇、友愛の広場等への投稿を呼び掛けています。是非、我こそはと思う方はチャレンジしてみてください。メール投稿も可能そうです。

7月13日日曜日開催の「水ロケット制作と発射体験会」約100名の小学生が、保護者とともに参加。井澤市長、新海市議長、松本洋平衆議院議員も参加。国分寺4小で実施、イベント的に根付いてると思います。東京武蔵国分寺RCが2年連続で、協賛し、会長・幹事をはじめ、事務局を含め約10名が参加され、制作、水入れ、ポンプ注入等御揃いのTシャツで活動されておりました。ジョイント事業ではなかったもので、参加の仕方としては、中途半端な形となってしまったかと思います。早稲田実業の科学クラブ、市の職員の方等いろいろな団体と知り合えるのは有意義かと思います。何事も参加してみないとわからないことがあるので、反省含め、次年度以降の奉仕事業としては一考の必要があると思います。

以上で、46分の3回目の会長の時間を終わります。

幹事報告

中村幹事

東京武蔵国分寺RC 島野様・三枝様 来訪ありがとうございます。

【報告】

7月13日 水ロケット製作、発射体験会 盛会に終了しました。

【予定】

7月22日 外部卓話講師 香坂様が来訪されます。

7月22日 例会終了後 戦略計画策定委員会開催します。

福島こらっしょりーフレットメールボックスにいれました。

国分寺難病の会 笑いと歌の会 チラシもご覧ください。

【地区】

7月25日 地区補助金 資金管理実務講習会にニューオータニにて原田委員長参加します。

7月26日 ピースウイングEクラブ認証伝達式にガバナー補佐グループ幹事 会長幹事で参加します。



委員会報告

出席委員会

原田委員長

会員数: 44名 免除: 11名 メーキャップ済: 2名

欠席: 1名 出席率: 96.97%

《前々回の訂正》 なし

クラブ協議会

国際奉仕・世界奉仕委員会

馬場委員長

当クラブは、創立以来、韓国、台湾、タイ国、チベット等の国々に対し、難聴児童に対する支援や、井戸の提供、飲料水装置完成等の活動を行って参りました。ロータリークラブが、地域社会の奉仕団



体の一つであることから、こうした、国際奉仕活動も、それぞれの地域奉仕の延長線上にあり、奉仕活動もそこから生まれてくるものだと思います。現在のところ、具体的な実施予定プロジェクトは、ありませんが、今年度は、下記の方針に沿って、活動を進めて参ります。①地区の方針を尊重し、事業を推進する。②奉仕プロジェクトグループの一員として、関係委員会の皆様とよく協力し、連携を密にする。③国分寺市の地域活動との関わりの中で、活動を検討する。1年間、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

会員維持・増強・職業分類・会員選考委員会

関口委員長

本年度、会員増強・会員維持・職業分類・会員選考委員会委員長の関口でございます。副委員長の濱仲会員、委員の木口会員・井澤会員・照木会員と共に委員会活動を一年間楽しみたいと思っています



ところです。さて、会員増強がなぜ必要なかは、事業計画書の23ページの1から5に書かせていただきました。ロータリーの目的を達成するためには、会員増強は必要不可欠なことであり、「会員維持・増強」に関しては多くのクラブが大きな課題として、いろいろな取り組みを行っていますが、なかなか成果をだせないのが現状ではないでしょうか。今年度も当クラブの会員平均年齢は、60歳をきることが出来ませんでした。創立32年目から17年間、一度も出来なかったことから、いろいろと問題が浮かび上がってきます。今年度の年齢構成を見れば、一目瞭然であり、会員数44名の平均年齢は65.05歳となっています。いろいろな観点から鑑み、優れた資質を備えた40～50代の若い世代の会員を増強しなければならないのが現状ではないでしょうか。また、当クラブは、来年創立50周年を迎えます。意義ある創立50周年を迎えるためにも、会員数50名以上のクラブとなるよう当委員会が会員維持対策や会員候補推薦策を企画致します。先頭に立ち、活動致します。そし

て、高橋会長を筆頭に全ての会員にも新会員を推薦する義務と責任があるはず。会員自身がロータリアンとしての誇りが持てれば、会員増強は決して難しいことではないと思いますので、目標が達成できますようご支援・ご協力をお願い致しまして、委員会の事業報告といたします。

ロータリー情報・規定審議・細則委員会

山内委員長

ロータリー情報委員会について、クラブ運営マニュアルには「この委員会は、入会前の会員に対しロータリーの目的及び会員の義務と特典等のロータリーについての情報の資料配布を行い、説明をします」と、「炉辺会合を企画し実行します」と、あります。オリエンテーションを通じて、新会員に有効な資料を提供し、ロータリーへの理解と認識を深めて頂くように奨励致します。新会員を会員全員で気づかい、支え、会員基盤の中で楽しいクラブ活動を実施します。休みの多い会員には声をかけ、炉辺会合に出席して頂き、親睦を深め、ロータリーへの理解と意欲と楽しさを分かち合えるように努力致します。規定審議委員会について、前年度の2013年は改正の年度となりました。地区協議会の資料には、「採択制定案 抜粋」として多くの案が規定審議報告されました。例えば、「クラブ報告の規定を改正する件、クラブ幹事を理事会メンバーとするよう規定する件、クラブ会長の資格要件を改正する件、元クラブ会員の2回目の入会金を免除する件、出席規定に奉仕の要件を含める件、出席記録の算出に関する規定を改正する件、衛星クラブについて規定する件、仕事をした事のない人または仕事を中断している人を正会員と認める件、Eクラブの所在地域に関する規定を改正する件、人頭分担金を増額する件」等々の改正があり、2013年の「手続要覧ーロータリアンの手引きー」が発行されています。これに従い、細則・運営マニュアルの見直しを引き続き遂行致します。クラブ細則について、その改正は、クラブが最新の標準ロータリークラブ定款を採用している事に限ります。また、クラブの活動や目標など、クラブの独自性を反映させて、適宜、細則を修正する事ができる、ということです。クラブ細則の改正は正会員の三分の一が出席し、出席会員の三分の二の賛成投票によって、改正案を可決できます。このクラブ細則も第8条の四大奉仕活動を五大奉仕活動とする、引き続きの見直しが必要となっています。以上の委員会におきまして、副委員長、委員の会員と共に責務を果たしますよう努力致します。会員の皆様のご協力、ご指導を宜しくお願い致します。



新世代委員会

大平委員長

手続要覧によれば、新世代のための国際ロータリーの常設プログラムは、①インターアクト、②ローターアクト、③ロータリー青少年指導者養成プログラム(ライラ)、④青少年交換であるとされている。当委員会は、今年度



は次の三つについて行いたいと考えている。一つめは、ライラへの参加と応援である。当クラブではここ数年間、毎年1,2名の青年が参加していて、本年度も鉄道総研の男性一人が参加の申し出をしている。私は数年前にライラの終了式に出席したことがあるが、参加者のスピーチを聴いていると、わずか2泊3日の合宿研修を受けたただけなのに、人間が一まわりも二まわりも大きくなったように感じられた。参加者自身、自分が人間として大きくなったことを自覚し、ライラ参加により大きな感動を受けているように見受けられた。この感動をいつまでも持ち続けてほしいと思う。そのためにも、クラブの忘年例会などに毎年招待することなどは有意義なことだと思う。更に、参加者が主体となる集まりをつくって交流してほしい。それがローターアクトへつながることは夢か。二つめは、小・中学生による駅伝競走への協力である。これは当クラブ全体で協賛することになっているが、青少年育成の観点から当委員会としても特に協力したい。三つめは、青少年交換である。現在、具体的な話はないが、時がくれば参加したいという声もあるようなので、それらには前向きに対応したい。

米山奨学委員会

岡田委員長

地区の米山奨学委員長セミナーが、6月17日にハイアットリージェンシー東京にて行われましたので、出席して参りました。1)基調講演「効果的な寄付の集め方」2)活動説明「米山奨学生の選考について」「学友の活動とネットワークについて」「寄付の目標と推進について」3)質疑応答などがありました。米山奨学地区委員長の目標は、2750地区で会員数5千名、会員1人当たり2万円、総額1億円の寄付金集めが今年度の目標です。米山奨学は民間最大事業として、年間700人、累計17,545人の奨学生を受け入れています。国別でみると、中国32%、韓国23%、台湾19%、マレーシア5%、ベトナム3%、インドネシア2%、その他16%となっております。最近の政治情勢から、なぜ中国・韓国の奨学生が多いのか質問が出まし



た。現在、在日留学生の数は、中国8万6千人(63%)、韓国1万7千人(12%)、台湾5千人(3%)、その他3万人(22%)となって居ります。在日中国留学生は数が多く、成績優秀者も多いため、大学からの推薦者が多いことが、その理由として挙げられました。当クラブの今年度の米山奨学金の拠出及び活動は、昨年同等に行います。

ロータリー財団・クラブ特別基金委員会

田中委員長

今年度、ロータリー財団・クラブ特別基金委員会委員長を仰せつかりました田中 昇です。副委員長には、行動派で実力者の黄田 正忠副委員長さんをお願いいたしまして、共に活動してまいりたいと思っています。



○ロータリー財団委員会の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。財源は、全会員から徴収しまして、一人年100ドルを運営資金の柱として、各クラブの奉仕活動の補助資金として、提供することが使命の一部です。

○クラブ特別基金委員会 当基金は、当クラブの初代会長の佐々木義雄さんが、クラブ創立10周年記念の折、記念事業として創設されたもので、今年で40年目に成ります。過去にも3回程有効に使われておりますが、来年度、50周年を迎えるに当たり、それに相応しい記念すべき事業を行い1800万余の積立金の、一部を有効利用することが創設者も喜ばれる事と思いますので、是非皆様のお考え、ご意見をお聞かせ下さい。

閉会の点鐘

高橋会長

第2328回未掲載分

環境保全委員会

新海委員長

国分寺市内には、全国名水100選にも選ばれている「お鷹の道・真姿の池湧水」をはじめとする多くの湧水があり、それらの湧水から流れ出た水は野川となって、多摩川へと注いでいます。真姿の池周辺の元町用水で



は国分寺ロータリークラブの援助で復活したホタルが飛び、もう一方の源流である日立製作所中央研究所には大池と豊かな樹林地が残されています。このように豊かな水と緑が保たれている国分寺市の自然環境を次世代に継承するために、ロータリークラブは環境保全活動を推進してまいります。今年度の事業計画としては、国分寺市政施行50周年、国分寺ロータリークラブ創立50

周年を記念して、環境保全シンポジウムを開催したいと考えております。また、国分寺境内、湧水園の裏、リオンさんの敷地内、日立中研の大池、東経大の中など、野川源流域に数か所ある湧水の写真をご提供いただき、「写真絵葉書」を発行し、国分寺市内の豊かな水と緑を紹介する事業も考えております。さらに、会員の意識向上のため環境問題に関する卓話もプログラム委員会と調整してどこかで実施したいと思います。

社会奉仕委員会

小椋委員長

奉仕プロジェクトグループに所属する社会奉仕委員会の活動計画について発表致します。副委員長は地区奉仕プログラム委員会・地域社会奉仕委員会に出向の、クラブ委員長よりエライ桑原哲也さんです。本年度、高橋会



長のテーマは「奉仕活動を通じて地域社会に貢献！」しよう、です。そして具体的な活動として会長が目指している 1. 国分寺駅北口駅前防犯カメラ設置事業 2. 身障者をご招待する「芋堀大会」実施 3. 市政50周年事業「小中学生による史跡駅伝事業」他への協賛事業 4. 介助犬・聴導犬育成支援活動の継続的实施 以上の奉仕活動は社会奉仕委員会が中心になって活動しなければならないと思っていますが、今年度委員会の活動については、理事会及び戦略計画策定委員会や奉仕プロジェクトグループのリーダーの馬場さんや各委員長さんの方々と緊密な連携を取り乍ら、委員会の活動を行って参ります。

15年振りに再びめぐって来た社会奉仕委員長ですが、15年前は川越の荒幡農園に「希望園」の園児と職員を武州交通の大型バス2台をチャーターして乗し「芋堀・栗ひろい大会」を盛大に行いましたし、社協の「福祉バザー」への金品の協賛や会場の手伝い等の人的支援も致しました。そのほか「ニコニコボーリング大会」の開催、覚醒剤等薬物乱用防止運動、「国分寺まつり」への協賛支援等々…当時の会員数は63名で財政には「余裕」と会員には「若さと活力」が満ちていて明るく、元気に活動しました。そして、今、私も80才を越えて、RCでもいろいろと沢山の経験は重ねて参りましたが、多分、脳の軟化現象も進んで来ていると思いますし、何時脳卒中や心臓発作等で倒れるかも知れませんのでこれから委員長は、なるべく若い人を選んだ方がよろしいかと思っていますが、次年度飯沼さん、よろしくお願い致します。以上発表を終わりますが、会員の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会長 高橋 正典 幹事 中村 早苗
会報委員長 神尾 研二 副委員長 峰岸 正明

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>